

トランプが、CIA の反アサド軍への密かな支援中止を決定

——ネオコンによる激しい攻撃が予想される

【訳者注】今のアメリカでは愛国者が逆賊で、逆賊が愛国者である。この絵にかいたような倒錯が、不思議にも現実にもまかり通っている。真実を指摘し平和への道を求める者は、いわば“非国民”である。トランプのこの“決定”のことは、いくつかのニュース・サイトで報じられていて、目を疑ったが、この RT ニュースの予想するような結果になるのは、必至と思われる。これはトランプとプーチンの会談がなかったら、起こらなかったことではないだろうか？ 成算の有無より、とにかく正義を通すという大統領の心意気を感じず。米政界のような所にいると、善悪理非の判断がつかなくなるだろう。テロリストを支援して、名分の立たない戦争を戦わせるというのは、国際法違反に決まっているが、その感覚を麻痺させているのが、彼らに叩き込まれている「アメリカ例外主義」である。この麻痺に気づかないでいるのは、ワシントンの政治家だけでない、我が国のメディアでさえそうだ。試しに、その辺の人を捕まえて、「アメリカだけは外国侵略を許されていると思うか？」と聞けば、「そう思う」と答える、アメリカの“愛国者”並みの日本人が、かなりいるのではないだろうか？

RT

July 20, 2017



2014–2015 年間に、5 億ドルの米国民の税金が、54 のいわゆる“穏健派反乱軍”のグループを訓練するのに使われた。彼らのほとんどは、直ちにその武器を、アルヌスラまたはアル

カーイダに引き渡し、彼らに加わった、と調査ジャーナリスト **Rick Sterling** は説明する。

ワシントン・ポストの水曜日のある記事は、米高官からの情報で、トランプ大統領は、シリアの反乱軍を武装し訓練する CIA の密かなプログラムをやめ、ロシアと協働することに決定したと言っている。 https://www.washingtonpost.com/world/national-security/trump-ends-covert-cia-program-to-arm-anti-assad-rebels-in-syria-a-move-sought-by-moscow/2017/07/19/b6821a62-6beb-11e7-96ab-5f38140b38cc_story.html?utm_term=.f834f550b4ee

しかしホワイトハウスは、その仔細を確認することをこれまで拒否している。

RT: もしこの報告が正確で、トランプが、CIA によるシリアの反乱軍訓練をやめる決定をしたのだとすれば、それは、現場の状況にどう影響することが考えられるか？

リック・スターリング: この一挙は大きな意味をもつだろう。指摘しておかねばならない重要な点は、アメリカが、CIA または防衛省を通じて、過激派グループを武装するのは、国際法の下で不法行為であることだ。それはこれまで恐るべき金銭の浪費だった。2014 から2015 年の間に、5 億ドルの税金による資金が、総計 54 のいわゆる穏健派反乱軍を訓練するのに使われ、そのほとんどは直ちに、アルヌスラやアルカーイダに武器を引き渡し、彼らに加わった。それが現実の結果になっている。CIA が注ぎ込んだカネと訓練は、主としてアルカーイダの役に立っている。だから、それを止めることは非常によいことだ。

https://twitter.com/RT_com/status/887840453843984384/photo/1

RT: それが本当だとして、どうしてあなたは、ホワイトハウスがこの報告を確認するのを拒否していると思うか？

RS: 私はこれが、アメリカの対外政策をめぐって今、進行している戦争を示すものだと思う。すでにワシントン・ポストのきょうの報道では、彼らの引用する **Charles Lister** のような人々は、それについて非常に否定的だ。リスターは、トランプが“ロシアの罠”に引っかけたようなことを言っている。彼らは基本的に、シリアの紛争を引き延ばそうとしている。リスターは中東研究所で仕事をしており、この施設は **Raytheon** のような軍 - 産共同企業から、かなりの資金を受け取っている。彼らは戦争や紛争が終わってほしくないと思っている。それを引き延ばし、むしろエスカレートさせたいと思っている。政府内で、彼らと変わらず理性をもたない人々からの動きは、強く支持されなければならない。トランプの取ったのはポジティブな一挙だった。しかし、それは今、激しい攻撃にさらされつつある。この

決定は覆されるか、ぶっ壊されるかもしれない。だからそれは、我々が気を付けていなければならない、願わくは、そうならないように防御すべき、別の問題でもある。

RT: これは米高官と大統領が食い違うメッセージを出した、初めてのことでない。なぜワシントンから共通の路線が出されないのだろうか？

RS: 主流メディアは、不幸なことに、トランプの対外政策を攻撃する運動をやってきた。彼らがトランプに喝采を送ったのは、4月6日に彼がミサイル攻撃をしたときだけだ。その後、米情報局は、シリア政府が、ハン・シャイフンの町で化学兵器など発射しなかったことを知っていたことがわかり、それは Seymour Hersh が確かめたことだったために、(ハーシュはアメリカで最も注目され、よく知られた調査ジャーナリストだが)、彼の見解は基本的に、主流メディアからずっと検閲されている。そのため、ほとんどの人々がそのことを知らないでいる。

トランプは、4月4日の出来事の直後に、CIA長官の Mike Pompeo のところへ行き、単刀直入に、誰のやったことなのかと訊ねた。ポンペオは引き返してきて、言った——「それはシリア政府です」。それがトランプのミサイル攻撃の根拠だった。その後、米情報局は、シリア政府がやったのでないと知っていることが判明した。CIA とはどのようなものが、わかるだろう。彼らは基本的に、9人の市民を含め14人を殺した、トランプのこの攻撃に正当な根拠を与えたのだった。それが、トランプが、アメリカの主流メディアで本当に喝采され信用された、唯一の時だ。いまのこの計画、つまり CIA の“訓練と武装”計画が終わりになるというニュースは、大変なグッド・ニュースだ。我々はそれが、ネオコンたちによって猛烈に叩かれるだろうと予想することができる。彼らは、米国民の利益に逆らって、そして明らかに、シリアやその地域の人々の利益に最も逆らって、紛争を引き延ばし、エスカレーターさえさせようとしている者たちだ。——以上